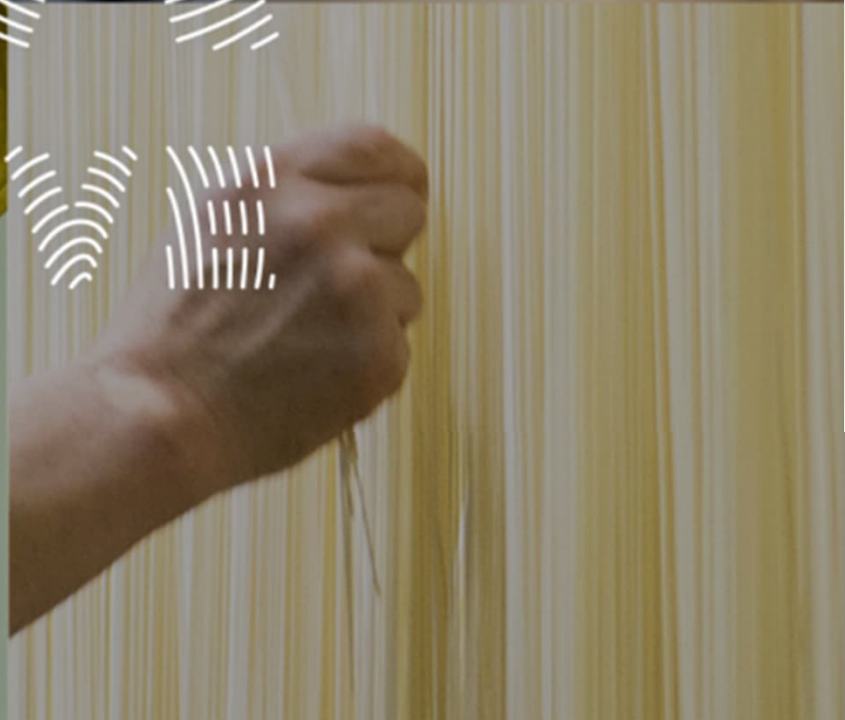




COLLECTIVE

SAGA COLLECTIVEとは

佐賀県の伝統産業10種のメーカー11社からなる協同組合。

(諸富家具)
レグナテック



(醤油・味噌)
丸秀醤油



(佐賀海苔)
三福海苔



(うれしの茶)
小野原製茶問屋



(ゆず製品)
川原食品



(日本酒)
天山酒造



(うれしの茶)
徳永製茶



(和紙)
名尾手すき和紙



(有田焼)
李荘窯業所



(神埼そうめん)
井上製麺



(鍋島緞通)
吉島伸一鍋島緞通



(賛助会員)
旅館あけぼの



異業種が集まった経緯

佐賀から世界へ、世界から佐賀へ。佐賀の魅力を発信したい。

～2017

個々の海外展開

2017

懇親会

2018

共同イベント

2019

補助事業

2020

コラボ商品

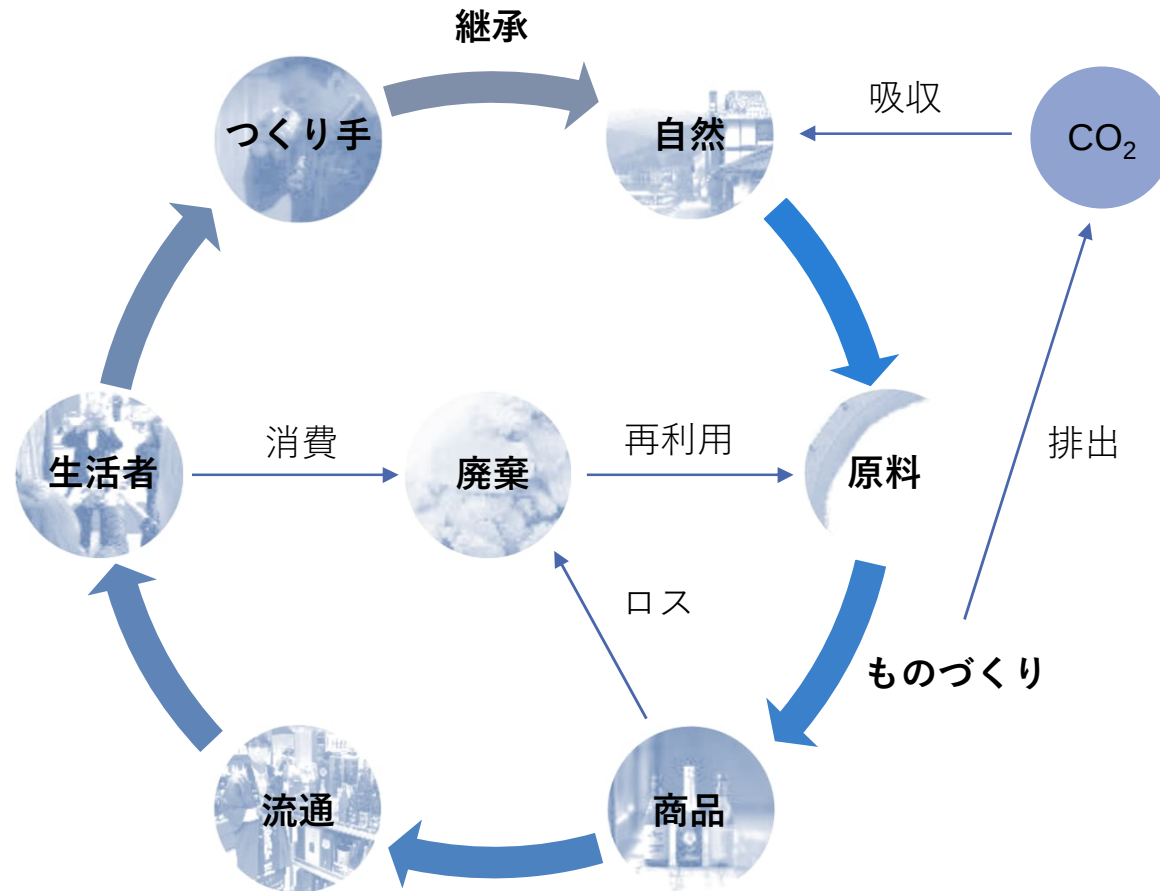
2021.10.01

協同組合
として法人化



循環と継承

地域の力を次につなげる。安心して「継承」できる舞台を整える。



エシカル（倫理的な）

各社がこれまで当たり前のようにやってきたことを続ける、強化する。

地球にやさしい



名尾手すき和紙が栽培する梶の木

- 環境保護
- ペーパーレス
- 梱包・包装削減
- CO2ゼロ、など

人にやさしい



丸秀醤油の無添加、天然醸造の味噌

- 無添加
- 天然素材
- オーガニック
- バリアフリーデザイン、など

社会にやさしい



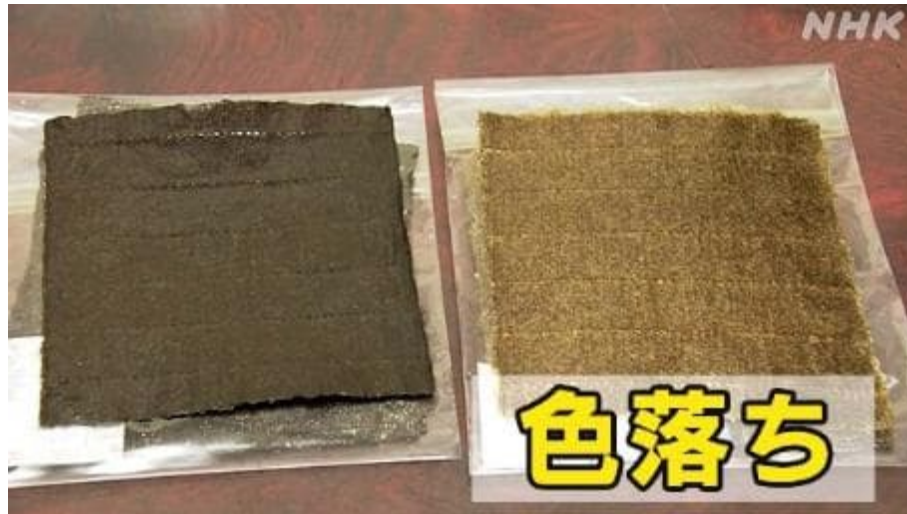
吉島伸一鍋島緞通の一子相伝の技術継承

- 地産地消
- 職人支援
- 男女参画
- 学生交流、など

地球にやさしい

気候変動は「いま」「わたしたち」の問題。

海苔の不漁



写真：NHK

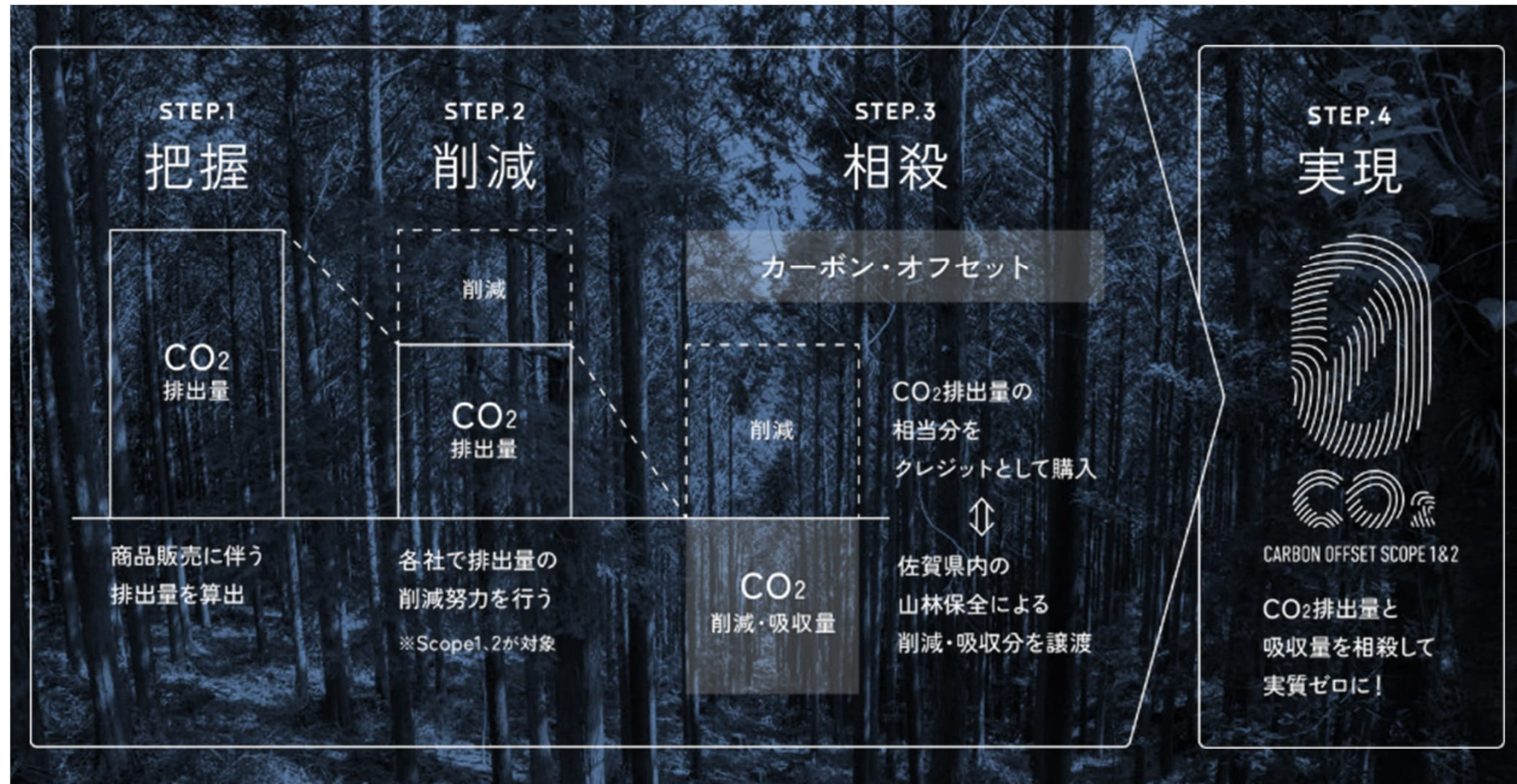
和紙工房の被災



写真：佐賀新聞

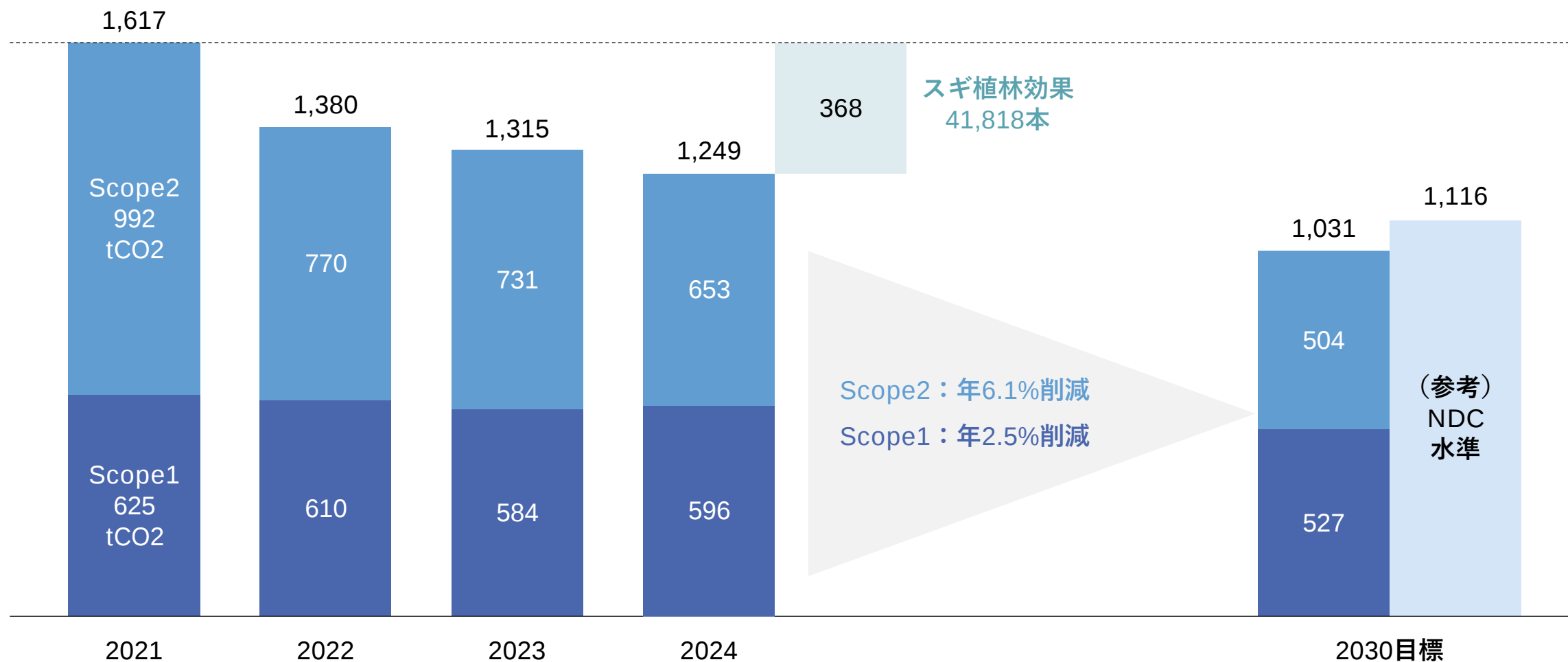
カーボン・ニュートラルの3つのステップ

まずは把握。削減努力をした上で、カーボン・オフセットを実施。



CO2排出量の実績と2030年の目標

活動開始の2021年度を基準。2024年度は累計368tCO₂（22.8％）削減。



カーボン・クレジットの種類

どうやって（下図）、誰が認証したのか（公的、ボランティア）に留意。



カーボン・オフセットを免罪符にしない

お金を払って解決ではない。CO2の排出・吸収に責任をもつ。

地元の自然由来のクレジット



佐賀県県有林の間伐促進プロジェクト

つくる人とつかう私たちが相思相愛



現場を視察しお互いの活動を理解した上で契約

SAGA COLLECTIVEの山

佐賀県と協定を締結。自らの手で森林保全活動。従業員同士の交流の場。



商品はすべてカーボン・ニュートラル（Scope1,2）

「環境」の切り口で新たな販路開拓。経済面でも持続可能な取り組みへ。



五感を刺激するワークショップ

十種の麴と天然醸造を学ぶ味噌づくり。



視察受入もカーボン・ニュートラル

視察人数、移動距離、移動手段からCO2排出量を算出し、オフセット。

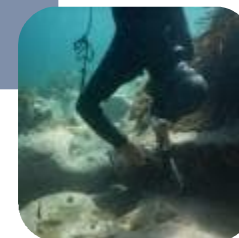


視察で発生する
CO2

視察代金の
一部で援助



自然を守るプロジェクトで
吸収



視察におけるCO2排出量

移動に伴うCO2排出量は87.7[kg]。

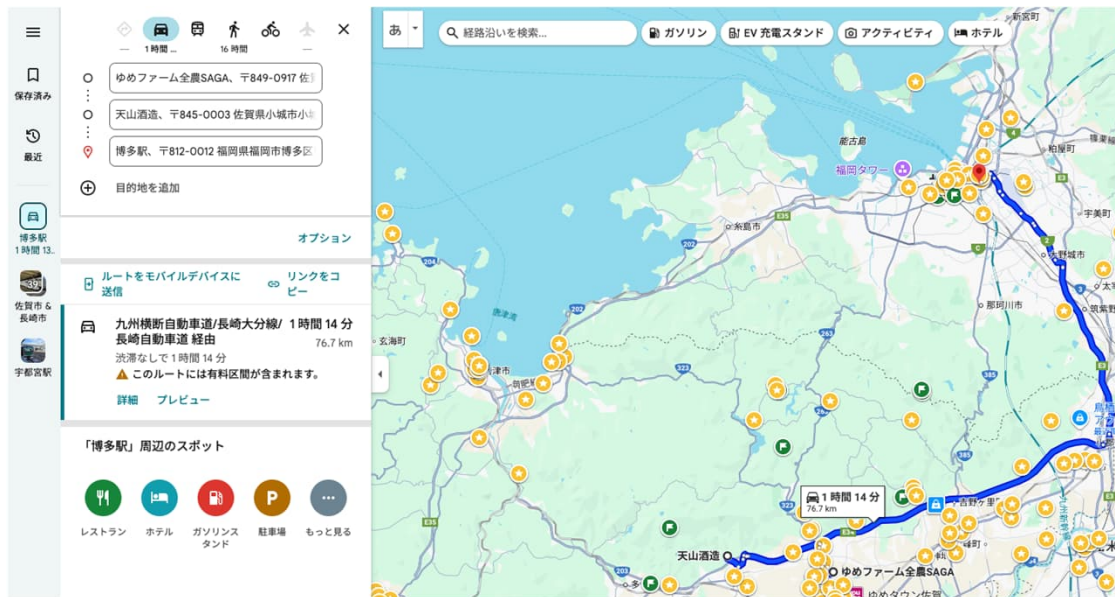
活動量

- 視察人数：9[人]
- 移動距離：76.7[km]

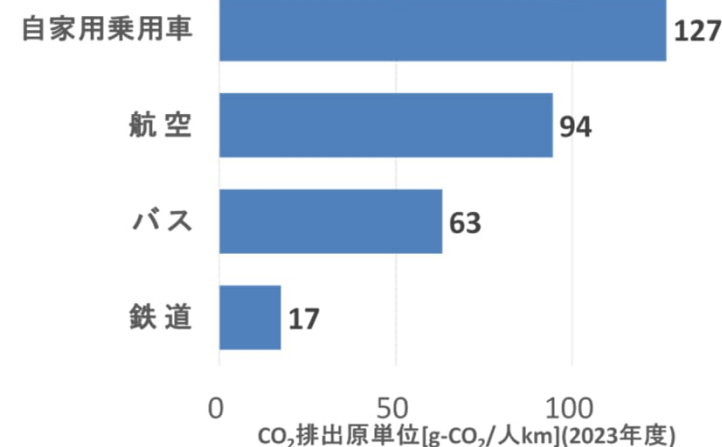


排出 原単位

- 自家用乗用車：127[gCO2/人km]



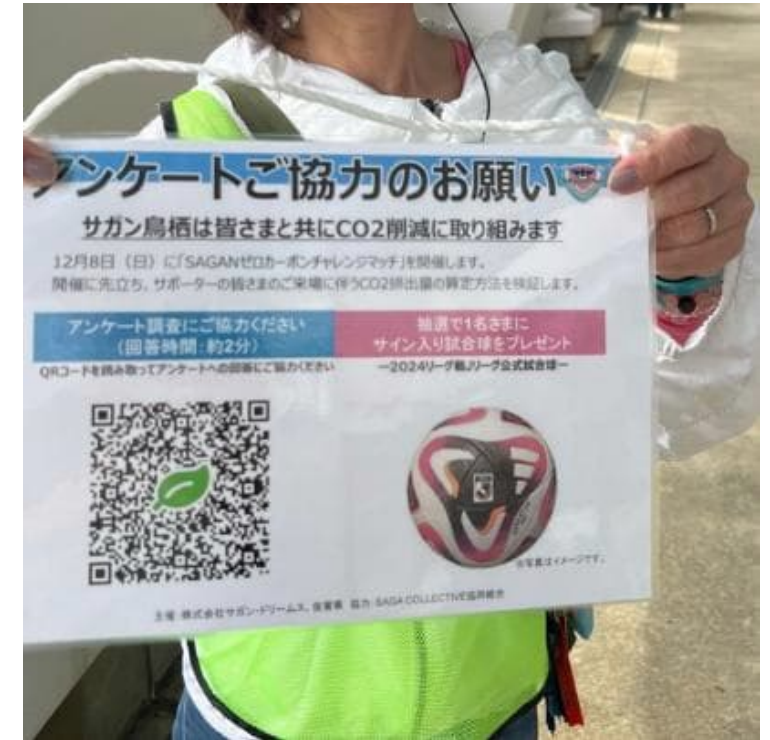
輸送量当たりの二酸化炭素の排出量(旅客)



※温室効果ガスインベントリオフィス:「日本の温室効果ガス排出量データ」、国土交通省:「自動車輸送統計」、「航空輸送統計」、「鉄道輸送統計」より、国土交通省 環境政策課作成

サガン鳥栖 ゼロ・カーボンチャレンジマッチ

サポーターの来場手段によるCO2排出量を算出。知って、体感する。



カーボン・ニュートラル（CN）による事業の広がり



モノ

環境配慮商品という新たな切り口

- CN商品の開発
- 国内外の販路開拓



コト

ファンをつくる

- CN視察の受入
- 体験型イベントの開催



ノウハウ

地域社会に貢献し仲間をふやす

- CNイベントの実現
- 産官学の社会実証事業